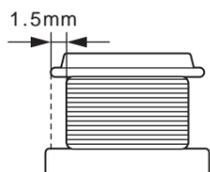


操作方法

推奨糸巻容量について

スプールに表示されている糸巻容量より若干少なくなります。スプールエッジから1.5mmをあけて（右図の範囲）糸を巻かれることをおすすめします。



糸巻き形状の調整方法

初期設定と基準ライン

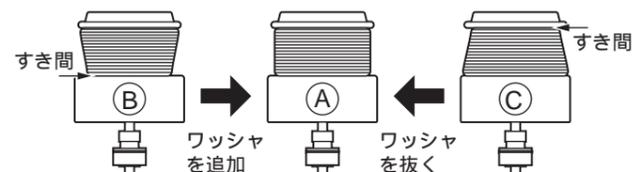
- #6000 ...PE(DURA)3号-300mでフラットテーパー(A)になるように設定されています。
- #8000 ...PE(DURA)4号-300mでフラットテーパー(A)になるように設定されています。

ラインテンションは約1kgで巻いています。ラインテンション、巻き方によっては上記通りの基準ラインでもフラットテーパーにならない場合がございます。その際も下記の方法で調整してください。

調整方法

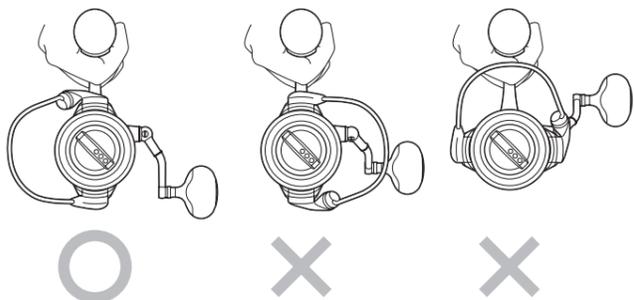
上記基準ラインより直径の細いラインを使用すると逆テーパー(B)となり、太いラインを使用すると順テーパー(C)となります。順テーパー、逆テーパーともライントラブルの原因となりやすく、付属の調整ワッシャによりなるべくフラットテーパー(A)に巻き上げていただくことをおすすめします。調整方法は以下の通りです。
付属の調整ワッシャ0.5mm×2枚、0.25mm×2枚です。

- 逆テーパーとなりスプール下端にすき間が生じる場合... 付属の調整ワッシャを徐々に追加してフラットテーパー(A)に近づける。
- 順テーパーとなりスプール上端にすき間が生じる場合... スプールワッシャを徐々に減らしてフラットテーパー(A)に近づける。



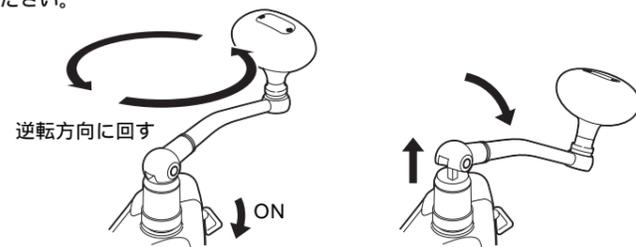
キャストポジション

×印の図の位置でキャストするとベールが返る恐れがありますので注意してください。完全にベールアームを開いてキャストしてください。トラブルの原因となることがあります。



ハンドルの折りたたみ方法

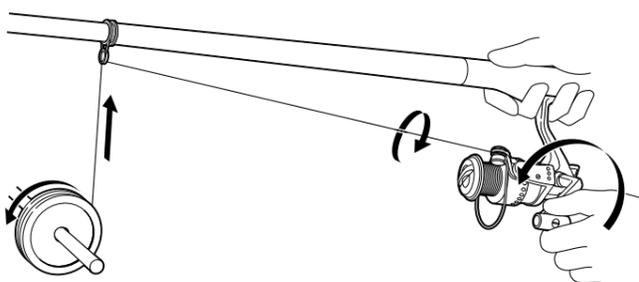
ハンドルはネジ込み式になっています。たたむ時はストッパーつまみをONにしてハンドルを数回逆転方向に回転させ、ハンドル軸をやや引き出し、ニギリ側に倒してください。のばす時はたたむ時と逆にします。（図は右手巻の場合です。）この時ハンドルを緩め過ぎますと、本体より抜け落ちますのでご注意ください。



パワーローラーIIIご使用上の注意

「パワーローラーIII」で快適な釣りを楽しんでいただくために、スプールに新しく糸を巻く場合は、下図の要領で糸を巻いて下さい。

- 図のようにリールを竿に取り付けます。
- 第1ガイドから糸を通してスプールに結びます。
- ドラッグの締まっていることを確認して下さい。
- 糸が巻かれているポビンに割り箸のような軸になるものを通します。
- それを誰かに持ってもらい、適度なテンションをかけてポビンを回転させながら糸を巻いて下さい。

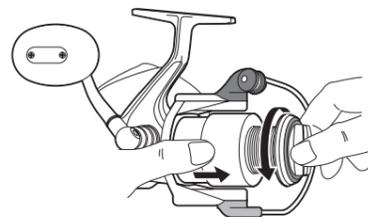


次のような外的条件によっては、ローラー性能が発揮できないため、糸ヨレが生じる場合があります。ご了承下さい。

- もともと糸がヨれている時。
- ドラッグが作動した時。
- 仕掛けが回転して、ヨリをかけている時。
- 新しい糸を巻くおり、巻き方が不適切だった時。
- 非常に軽い仕掛けの巻きとりでローラーが回転しない時。
- 仕掛けを投げた直後の糸フケを巻きとる時。
- その他、糸にテンションがかからずローラーが回転しない時。

スプールの脱着方法

取りはずし方
ドラッグつまみを反時計回りにまわしてください。



取り付け方
スプールをゆっくりに回しながら、スプール軸が完全につきぬけるまで入れ、ドラッグつまみを時計回りに回して締めつけてください。



ドラッグの調整方法

ドラッグは、その強弱を調整することによって急激な魚の引きに対し、スプールが空転して糸切れを防ぐ機構です。

- 実際に使用される竿に本体をセットし、道糸をガイドに通して下さい。
- ストッパーONの状態、想定されるファイティング時のロッドの角度で図のように糸を引き出しながら、ドラッグつまみの締めつけを調節して下さい。ドラッグ力は右に回すと強くなり、左に回すと弱くなります。実用ドラッグ力の範囲で設定して下さい。それ以上に設定された場合のタックルの耐久性は保証しかねます。
- 通常は糸切れを起こす寸前の力でスプールが空転し、糸が出ていくように調節して下さい。また遠投などする時は、必ずドラッグをよく締めつけてから投げるようにして下さい。ドラッグが滑って糸を手を傷つけることがあります。



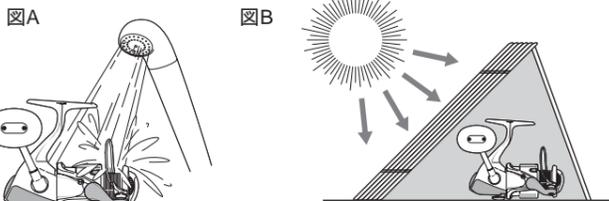
メンテナンスの方法

基本的なメンテナンス順序

- 水洗い...シャワー等の真水で1~2分間水洗いしてください。図A
温水はグリスを洗い流す可能性があるためお避けください。
また、同様の理由でリール本体を水没させないでください。
- 乾燥...直射日光を避け、陰干ししてください。図B
直射日光、ドライヤー等は内部のムレを引き起こします。
- オイル噴霧...ラインローラ、アームカム、取り付けカム、ハンドル部、各ボルトに別売のメンテナンススプレー（SP-003H・下記）のリールオイルスプレーを約1秒間噴霧してください。（噴霧箇所は「オイル噴霧箇所」を参照）
長く噴霧させると逆流します。決してグリススプレーは使用しないでください。

シマノ純正リールメンテナンススプレー（SP-003H）¥1,700

リールオイルスプレーとリールグリススプレーの2本セット販売です。小売店にてご注文ください。注油の際は、オイルが飛び散り周囲を汚すことがあります。換気の良い場所で注意して行ってください。NAVI-PGにはリールグリススプレーは使用いたしません。



- お願い
- 使用後ハンドルを回転させると、上下のスプールのターン部で「カチ、カチ」と音鳴りすることがございますが、故障ではありません。カム式オシレートの場合、多少音があっても正常です。
 - オイルはシマノ純正品（別売）をお使いください。そうでない場合の品質の保証はいたしかねます。ご留意ください。
 - リールの状態は使用頻度のみならず、使用環境、使用方法、対象魚等によって大きく異なります。回転時のゴロつき、引っ掛かりの症状が出ればもちろんですが、本体フタを外していただいて内部にグリスが残っていないければ、直ぐさま弊社サービスへ、そうでなくとも半年に1度はお預けいただくことをおすすめいたします。最寄りの小売店にてお受けしております。
 - スプールを水没させ数時間放置しますと、ドラッググリスが水に流れ出てしまいます。この方法でのラインの塩抜きはおやめください。
 - ドラッグ内部は精密箇所につき、ご自分で分解されると性能面での保証はいたしかねます。基本的に弊社サービスへお預けいただくことをおすすめしますが、ご自分でメンテナンスされる場合は、グリスの塗布量には充分ご注意ください。ドラッググリスは、ごく薄く塗布する程度に留めてください。NAVI-PGは新型のカーボンシートを採用しています。従来のフェルト、ピュアカーボンとはグリスの塗布量が異なります。
 - ドラッグに使われているドラッググリスは特殊な成分のものです。必ず、シマノ純正の指定ドラッググリス（下記・小売店にてご注文ください。）をお使いください。なお、メンテナンススプレー（SP-003H）のリールグリススプレーはドラッググリスではありませんので使用しないでください。

シマノ純正ドラッググリス（DG01 ACE-0）¥800

- 釣行後は竿にセットしたままにせず、リールをはずして水洗いしてください。竿にセットした状態で水洗いされても、リールシートのフード部とリールの脚に溜まった海水を洗い流せない事がしばしばあります。

水没した際の応急処置

- 水抜き...回転枠を外して内部に侵入した水を抜いてください。
 - 水洗い...上記「基本的なメンテナンス順序」をご参照ください。
 - 乾燥...上記「基本的なメンテナンス順序」をご参照ください。
 - オイル噴霧...ローラクラッチ、ラインローラ、アームカム、取り付けカム、ハンドル部（3カ所）各ボルトに約1秒間噴霧してください。（下記「オイル噴霧箇所」参照）
長く噴霧させると逆流します。決してグリススプレーは使用しないでください。
- お願い
以上はあくまで応急処置です。不意に水没された場合は、できるだけ早く当社のメンテナンスを受けられるよう、最寄りの小売店にお預けください。

オイル噴霧箇所

上記の「オイル噴霧」を行う際は下図を参照していただき、まちがえないように噴霧してください。

